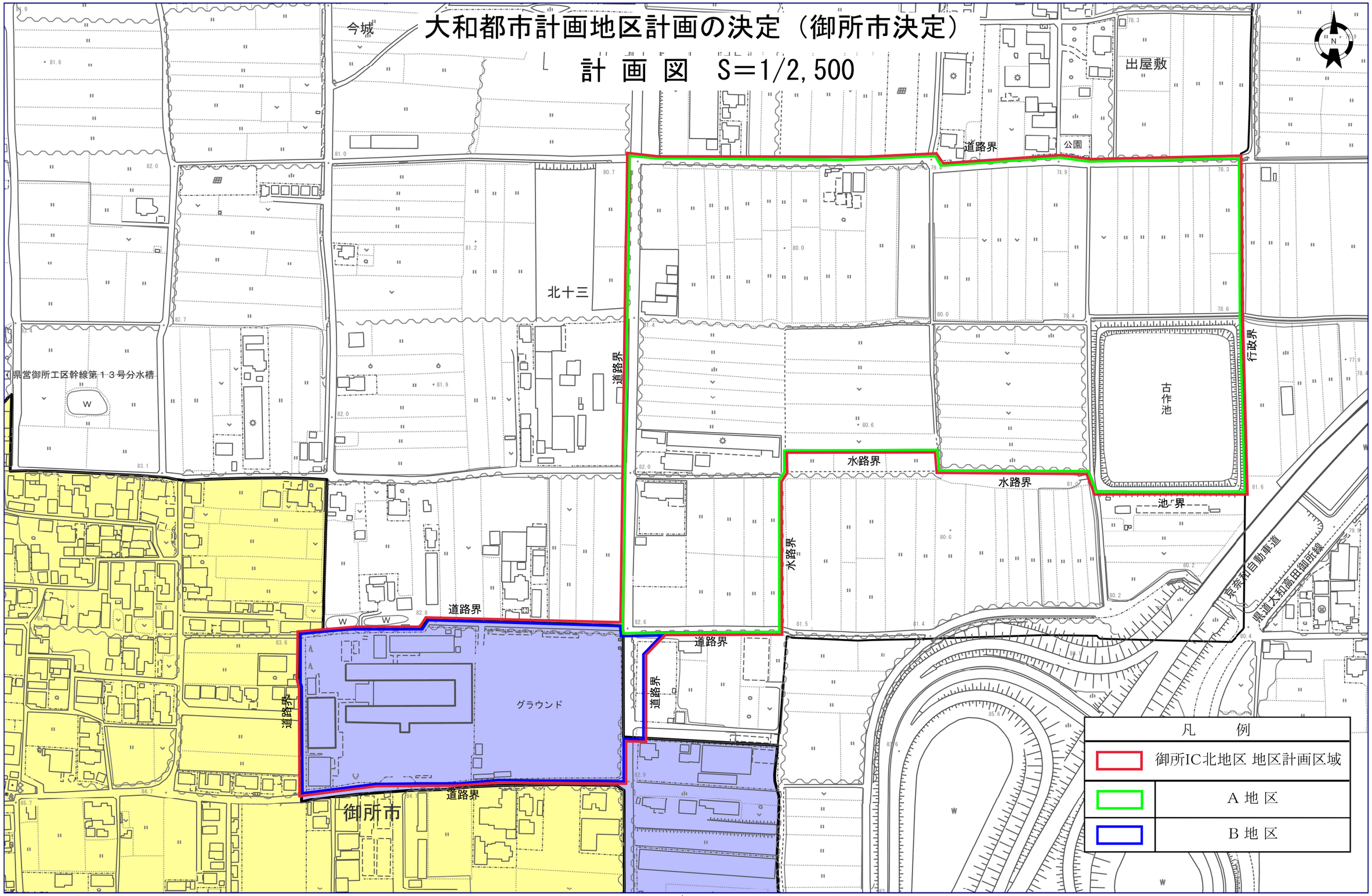
御所市

地区計画図

大和都市計画地区計画の決定（御所市決定）

計 画 図　S＝1/2,500



1/2500

0　70m

土地利用計画平面図

土地利用面積集計表

種別	名称	全体 面積(㎡)	全体 比率(%)	第１工区（西工区） 面積(㎡)	第１工区（西工区） 比率(%)	第２工区（東工区） 面積(㎡)	第２工区（東工区） 比率(%)	備考
宅地								
	工場用地	84,205.55	69.0	16,201.50	13.3	68,004.05	55.7	
	水道用地	436.54	0.4	－	－	436.54	0.4	
	小計	84,642.09	69.4	16,201.50	13.3	68,440.59	56.1	
道路								
	開発道路	5,516.16	4.5	－	－	5,516.16	4.5	
	既存道路	4,179.32	3.4	1,714.97	1.4	2,464.35	2.0	御所市整備
	小計	9,695.48	7.9	1,714.97	1.4	7,980.51	6.5	
雨水								
	排水路	1,284.96	1.1	1,116.81	0.9	168.15	0.1	
	調整池	19,215.90	15.7	4,079.20	3.3	15,136.70	12.4	
	小計	20,500.86	16.8	5,196.01	4.3	15,304.85	12.5	
公園緑地								
	緑地	2,197.94	1.8	2,197.94	1.8	－	－	
	緑地	3,499.98	2.9	－	－	3,499.98	2.9	御所市整備
	小計	5,697.92	4.7	2,197.94	1.8	3,499.98	2.9	
用水路								
	用水路敷	1,477.53	1.2	207.25	0.2	1,270.28	1.0	
	小計	1,477.53	1.2	207.25	0.2	1,270.28	1.0	
総計		122,013.88	100.0	25,517.67	20.9	96,496.21	79.1	
	開発区域	122,013.97	100.0	25,517.70	20.9	96,496.27	79.1	
	県重複区域							
	工区界							
	主たる出入口							

各土地利用の面積について、合計値は第1工区25,517.67㎡、第2工区96,496.21㎡、開発区域全体122,013.88㎡となり、開発区域面積とは相違がありますが、これは小数点第３位以下を切捨していることに因るものになります。

凡例

種別	名称	備考
———	用途界	
— — —	都市計画道路	
———	県事業区域	

第２工区（東工区）

第１工区（西工区）

御所29号線
A=353.13㎡

緑地③-1 A=1642.55㎡

緑地③-2
A=17.43㎡

緑地④ A=993.83㎡

宅地(工場)(２街区)
A=31297.17㎡

宅地(工場)(１街区)
A=28014.04㎡

用水路⑤
A=317.37㎡

北十三柳原線
A=767.60㎡

宅地(水道施設)
A=436.54㎡

雨水排水路②
A=168.15㎡

1号調整池
A=15136.70㎡

用水路④
A=90.44㎡

用水路③
A=862.47㎡

区画道路1号線
A=4017.62㎡
(延長:388.230m)

宅地(工場)(３街区)
A=8692.84㎡

都市計画道路3.5.902冨田線
2車線（12m～23m）

都市計画道路3.2.3橿原御所線
2車線（38m～350m）

元町蛇穴線②
A=561.27㎡

雨水排水路①
A=1116.81㎡

区画道路2号線
A=1498.54㎡
(延長:128.616m)

御所42号線
A=1.39㎡

緑地② A=846.17㎡

御所43号線
A=782.35㎡

緑地①
A=2197.94㎡

宅地(工場)(４街区)
A=16201.50㎡

2号調整池
A=4079.20㎡

用水路②
A=131.90㎡

元町蛇穴線①
A=1561.62㎡

南十三茅原線
A=151.96㎡

用水路①
A=75.35㎡

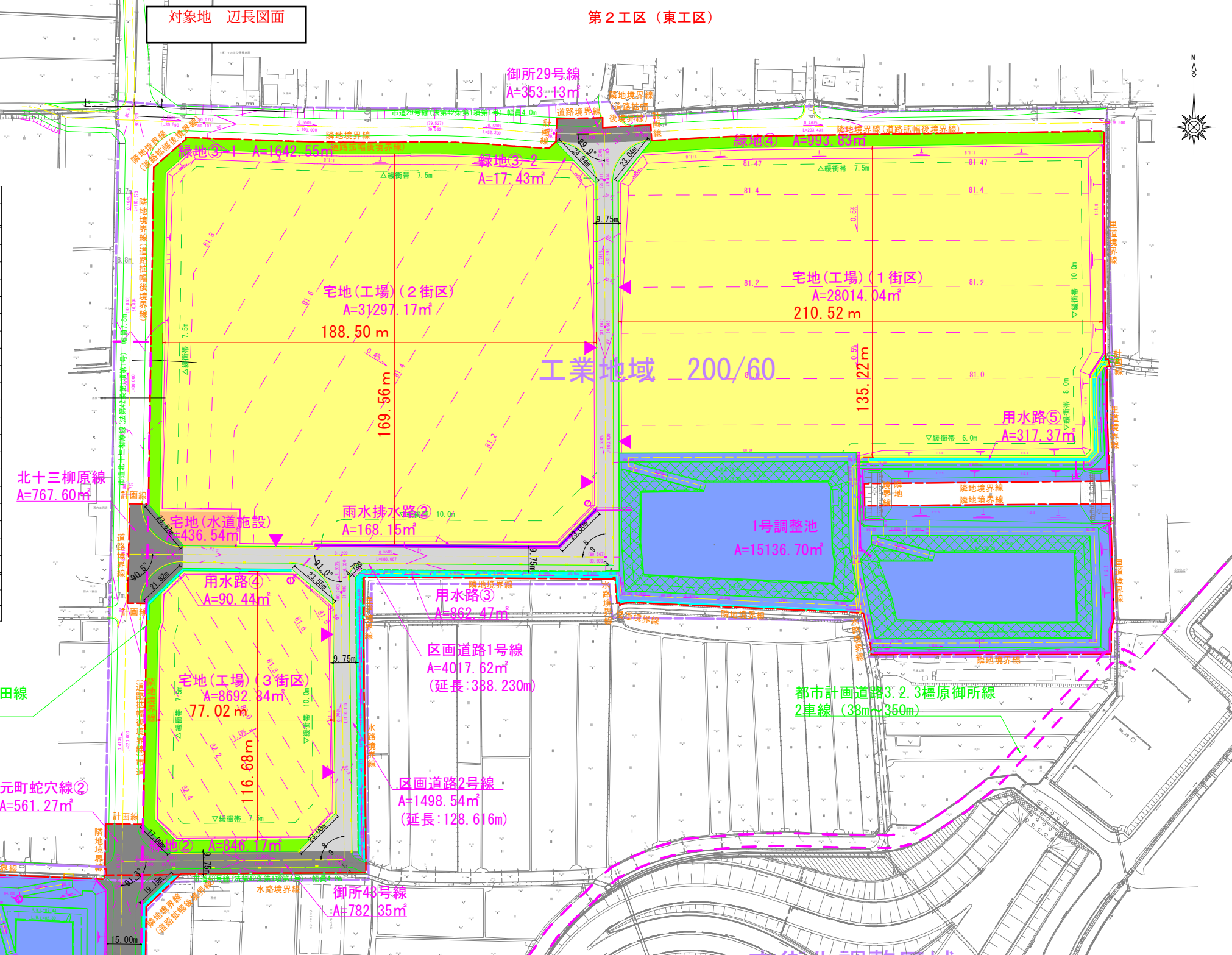
0 10m 20m 30m 40m 50m

施工年度	令和７年度
工事番号	第700－４号
工事名	御所ＩＣ工業団地 造成工事（御所ＩＣ工業団地整備事業）
施工箇所	御所市北十三 外
図面種類	土地利用計画平面図
縮尺	S=1:1000 (A1) S=1:2000 (A3)

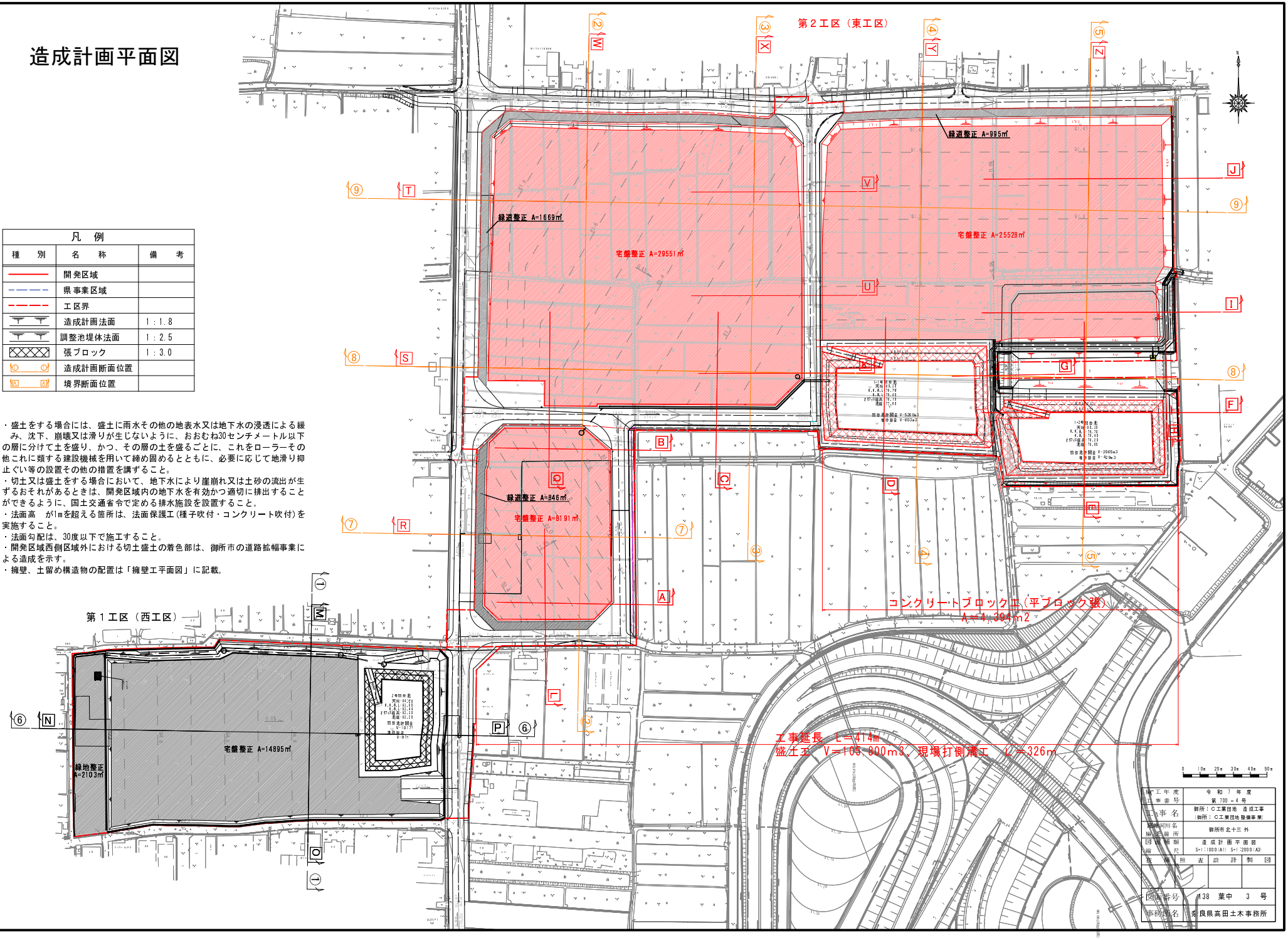
監督	照査	設計	製図

図面番号 138 葉中 2 号

事務所名 奈良県高田土木事務所


対象地　辺長図面
第２工区（東工区）
御所29号線
A=353.13㎡
緑地③-1　A=1642.55㎡
緑地③-2
A=17.43㎡
緑地④　A=993.83㎡
宅地(工場)(２街区)
A=31297.17㎡
188.50 m
169.56 m
宅地(工場)(１街区)
A=28014.04㎡
210.52 m
135.22 m
工業地域　200/60
用水路⑤
A=317.37㎡
北十三柳原線
A=767.60㎡
宅地(水道施設)
A=436.54㎡
雨水排水路②
A=168.15㎡
1号調整池
A=15136.70㎡
用水路④
A=90.44㎡
用水路③
A=862.47㎡
区画道路1号線
A=4017.62㎡
(延長:388.230m)
宅地(工場)(３街区)
A=8692.84㎡
77.02 m
116.68m
都市計画道路3.2.3橿原御所線
2車線（38m~350m）
元町蛇穴線②
A=561.27㎡
区画道路2号線
A=1498.54㎡
(延長:128.616m)
宅地②　A=846.17㎡
御所43号線
A=782.35㎡

造成計画平面図



凡　例		
種　別	名　称	備　考
	開発区域	
	県事業区域	
	工区界	
	造成計画法面	1：1.8
	調整池堤体法面	1：2.5
	張ブロック	1：3.0
	造成計画断面位置	
	境界断面位置	

・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高　が1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域西側区域外における切土盛土の着色部は、御所市の道路拡幅事業による造成を示す。
・擁壁、土留め構造物の配置は「擁壁工平面図」に記載。

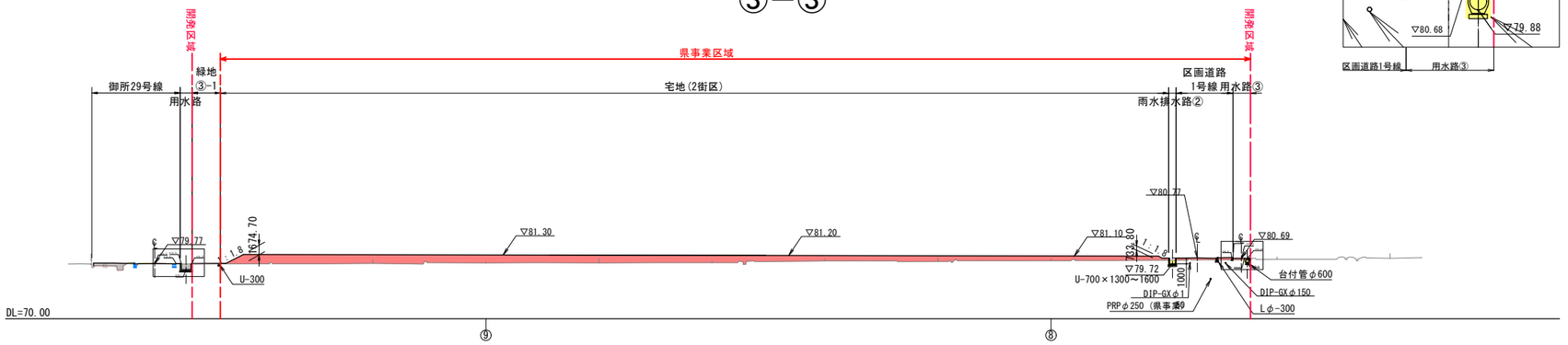
施工年度	令　和　7　年　度
工事番号	第 700 － 4 号
工事名	御所ＩＣ工業団地　造成工事（御所ＩＣ工業団地 整備事業）
路線河川名	
施工箇所	御所市北十三 外
図面種類	造成計画平面図
縮尺	S=1:1000(A1)　S=1:2000(A3)

監督	照査	設計	製図

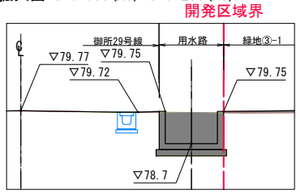
図面番号	138　葉中　3　号
事務所名	奈良県高田土木事務所

造成計画断面図（1）

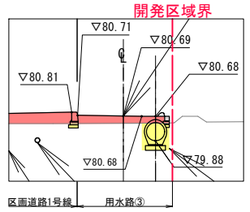
③－③



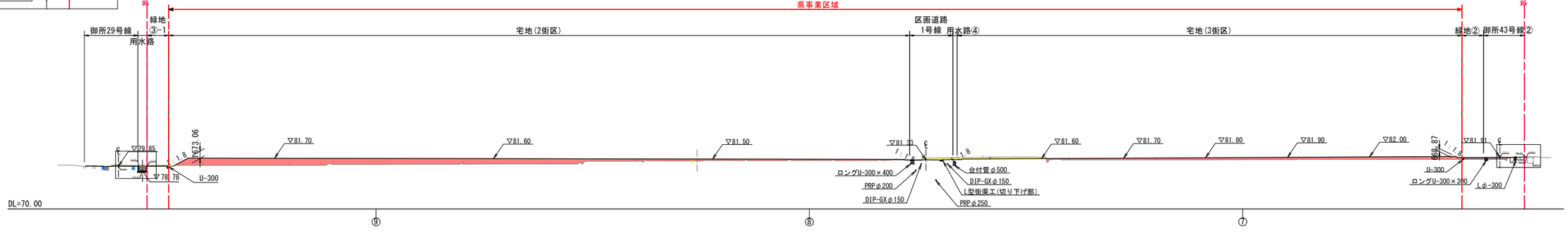
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



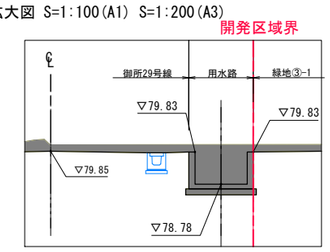
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



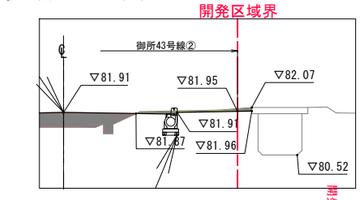
②－②



拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)

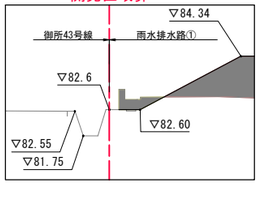


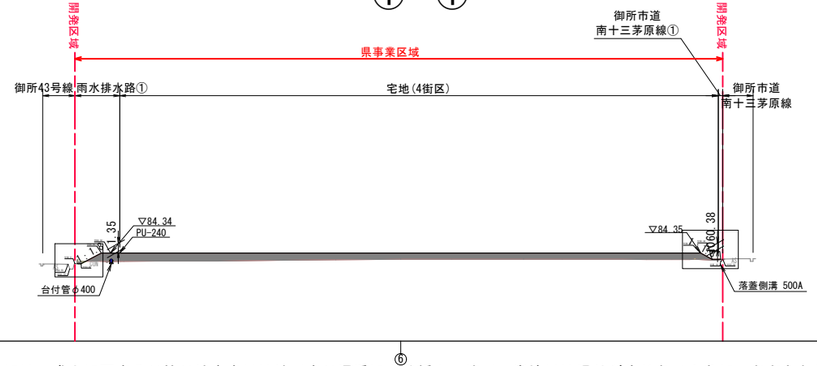
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



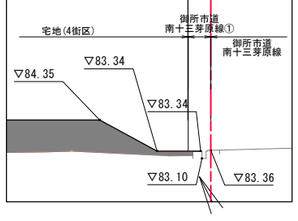
①－①

拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)





拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



凡　例

種別	名称
▽81.00	計画道路高
	切　土
	盛　土
	開発区域
	県事業区域

・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高さが1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付・ブロック)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域外の造成は市事業（道路拡幅事業）である。

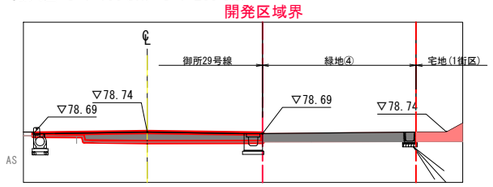
施工年度	令和7年度
工事番号	第700－4号
工事名	御所ＩＣ工業団地　造成工事（御所ＩＣ工業団地整備事業）
路線河川名 施工箇所	御所市北十三 外
図面種類	造成計画断面図（1）
縮尺	S=1：500(A1) S=1:1000(A3)

技師	照査	設計	製図

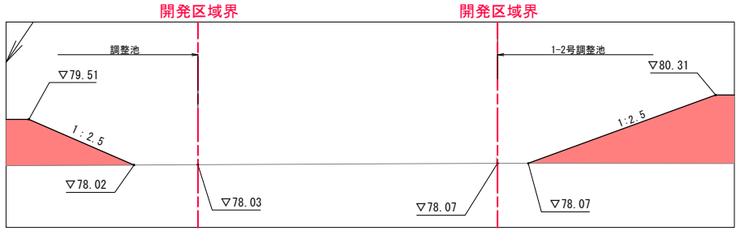
図面番号	138　葉中　4　号
事務所名	奈良県高田土木事務所

造成計画断面図（2）

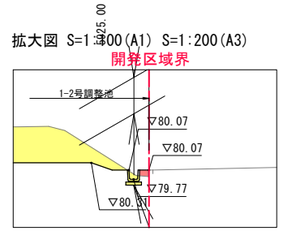
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



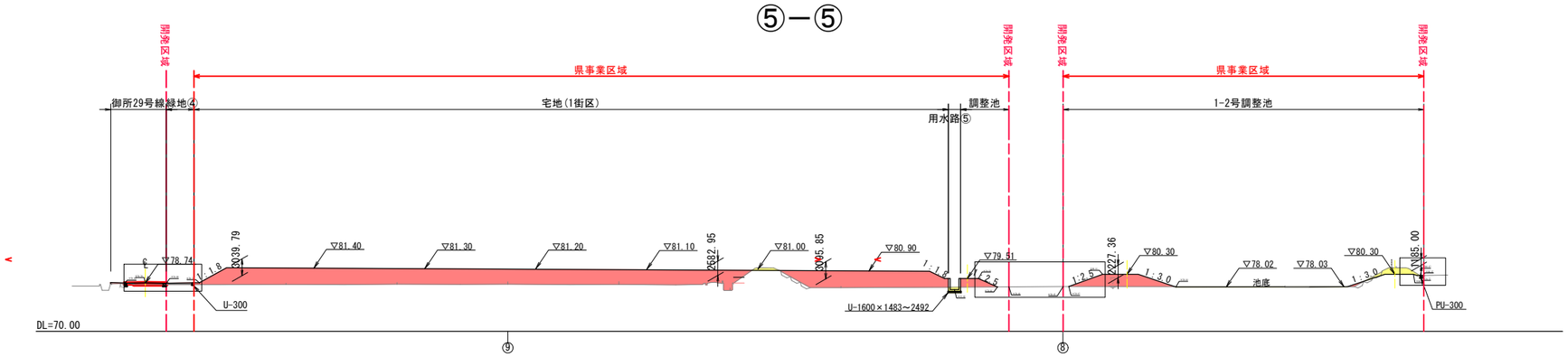
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



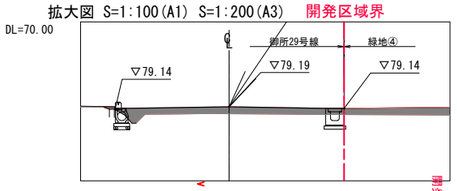
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



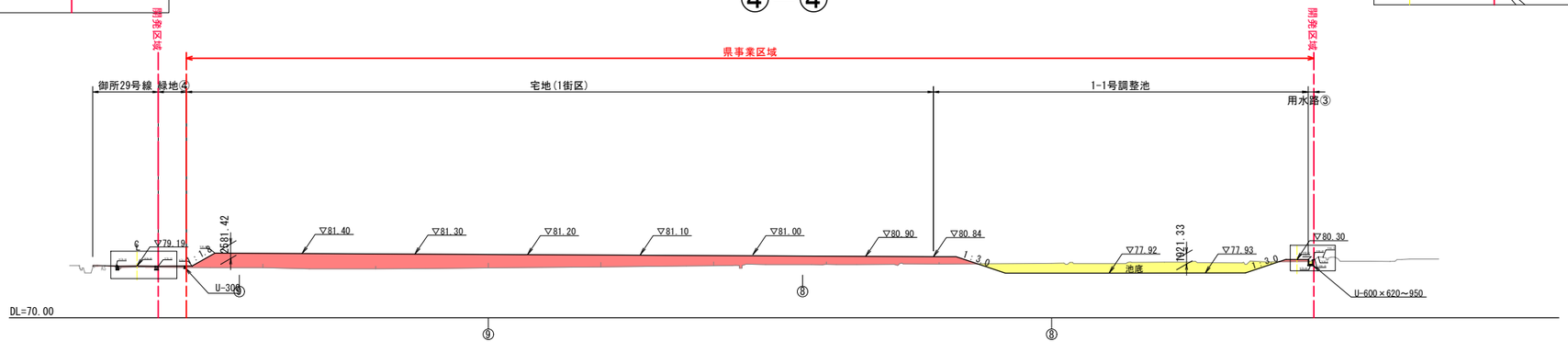
⑤－⑤



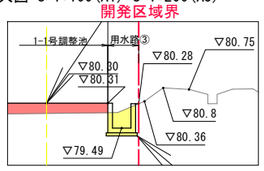
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3) 開発区域界



④－④



拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高さが1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付・ブロック)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域外の造成は市事業（道路拡幅事業）である。

凡　例

種別	名称
▽81.00	計画道路高
	切　土
	盛　土
	開発区域
	県事業区域

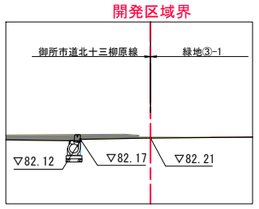
施工年度 / 工事番号	令和7年度 第700－4号
工事名	御所ＩＣ工業団地　造成工事（御所ＩＣ工業団地整備事業）
路線河川名 / 施工箇所	御所市北十三 外
図面種類 / 縮尺	造成計画断面図(2) S=1: 500(A1) S=1:1000(A3)

技師	照査	設計	製図

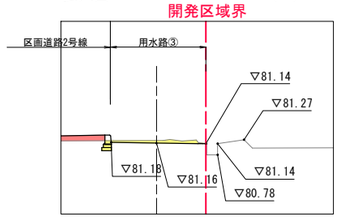
図面番号	138　葉中　5　号
事務所名	奈良県高田土木事務所

造成計画断面図（3）

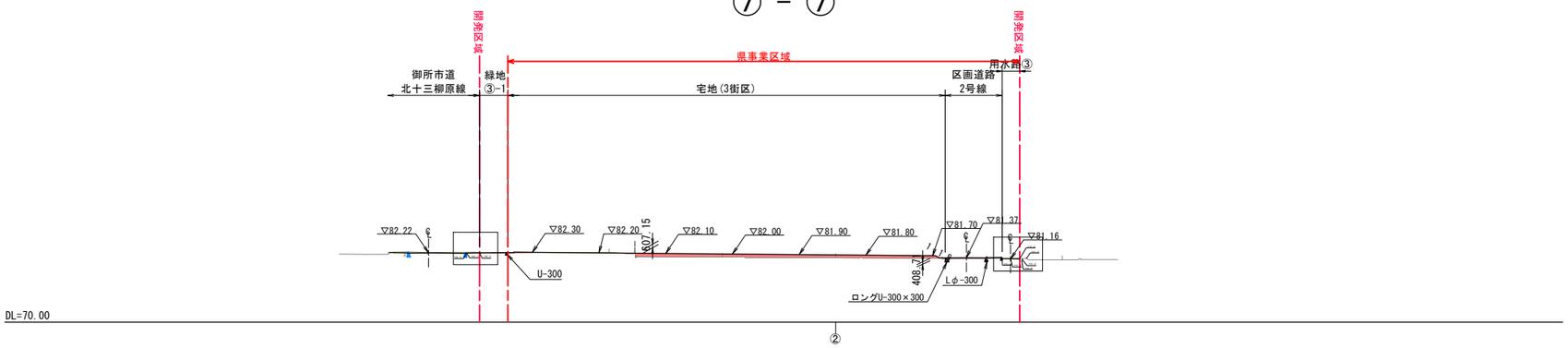
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



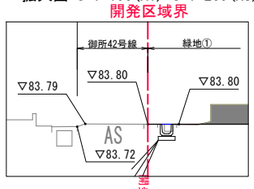
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



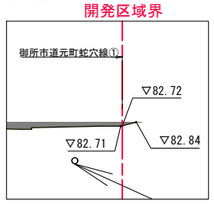
⑦ － ⑦



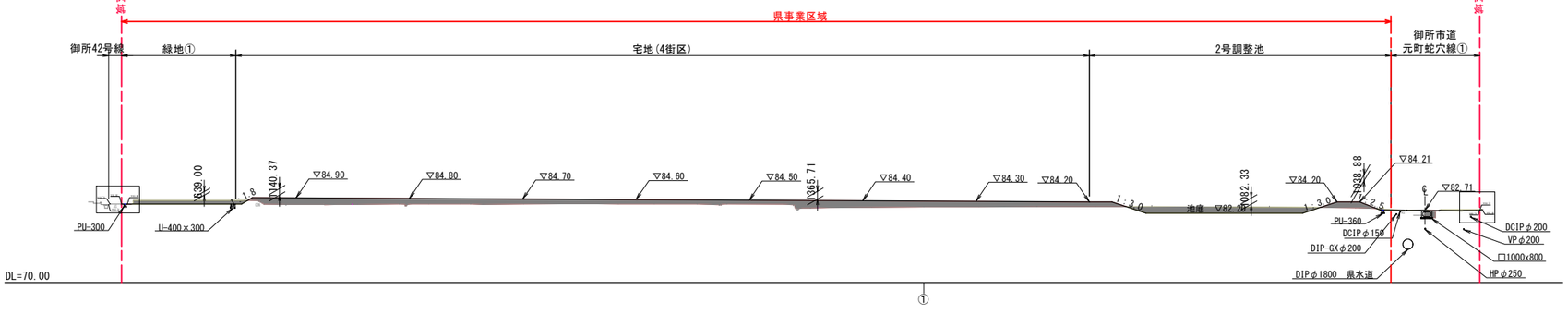
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)



⑥ － ⑥



凡　例

種別	名称
▽81.00	計画道路高
	切　土
	盛　土
	開発区域
	県事業区域

・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高さが1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付・ブロック)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域外の造成は市事業（道路拡幅事業）である。

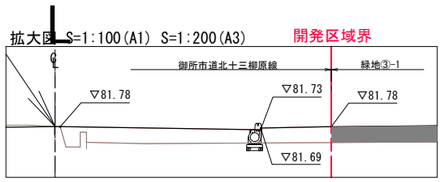
施工年度 工事番号	令和7年度 第700－4号
工事名	御所ＩＣ工業団地　造成工事 （御所ＩＣ工業団地整備事業）
路線河川名 施工箇所	御所市北十三 外
図面種類 縮尺	造成計画断面図(3) S=1: 500(A1) S=1:1000(A3)

技師	照査	設計	製図

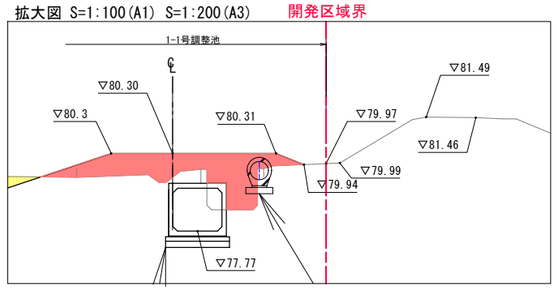
図面番号	138　葉中　6　号
事務所名	奈良県高田土木事務所

造成計画断面図（4）

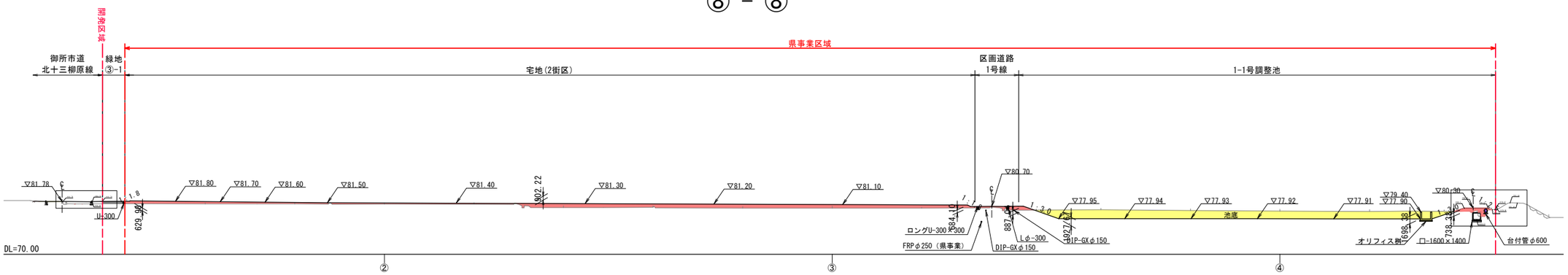
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)　開発区域界



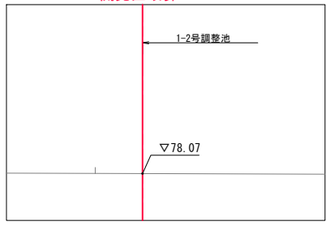
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)　開発区域界



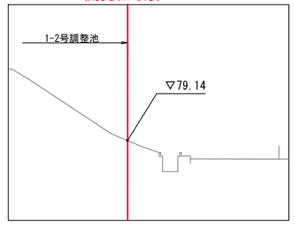
⑧ - ⑧

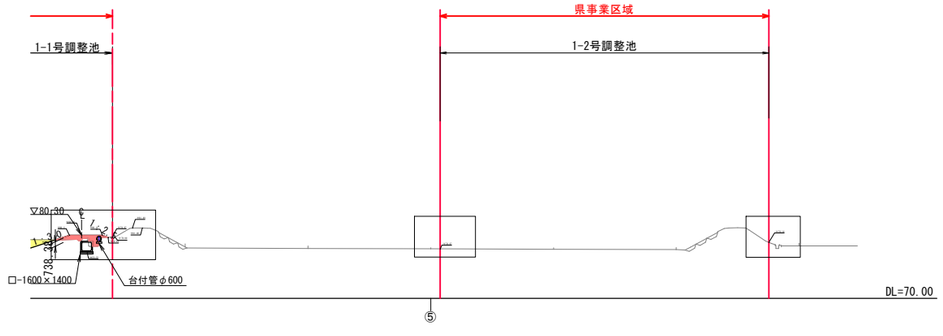


拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)
開発区域界



拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)
開発区域界





・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高さが1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付・ブロック)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域外の造成は市事業（道路拡幅事業）である。

凡　例

種別	名称
▽81.00	計画道路高
	切　土
	盛　土
――	開発区域
――	県事業区域

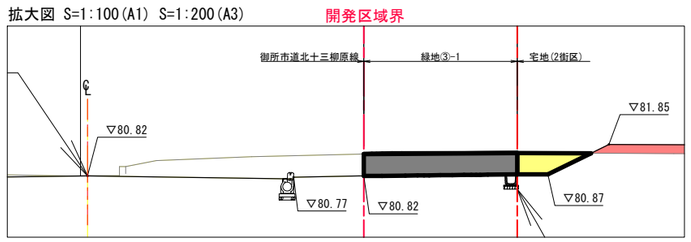
施工年度 / 工事番号	令和7年度 / 第700－4号
工事名	御所ＩＣ工業団地　造成工事（御所ＩＣ工業団地整備事業）
路線河川名 / 施工箇所	御所市北十三 外
図面種類 / 縮尺	造成計画断面図(4) / S=1:500(A1) S=1:1000(A3)

技師	照査	設計	製図

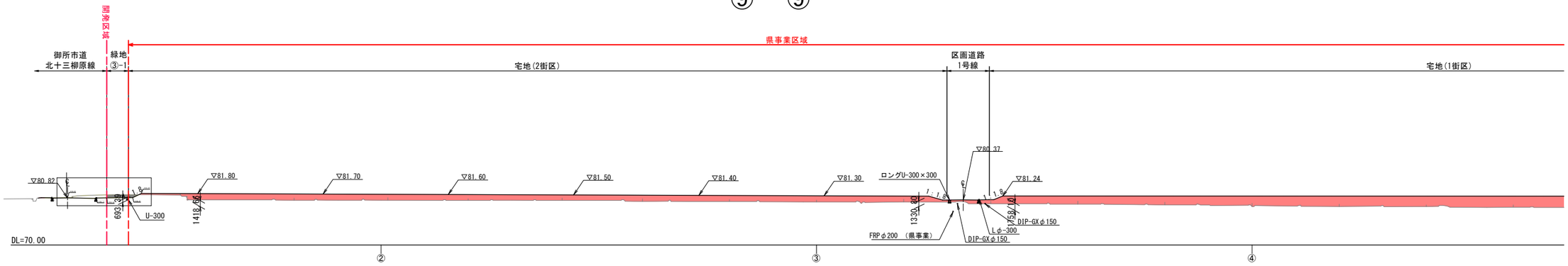
図面番号	138　葉中　7　号
事務所名	奈良県高田土木事務所

造成計画断面図 (5)

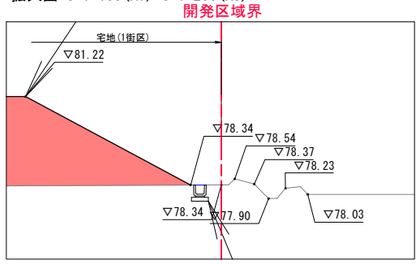
拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)

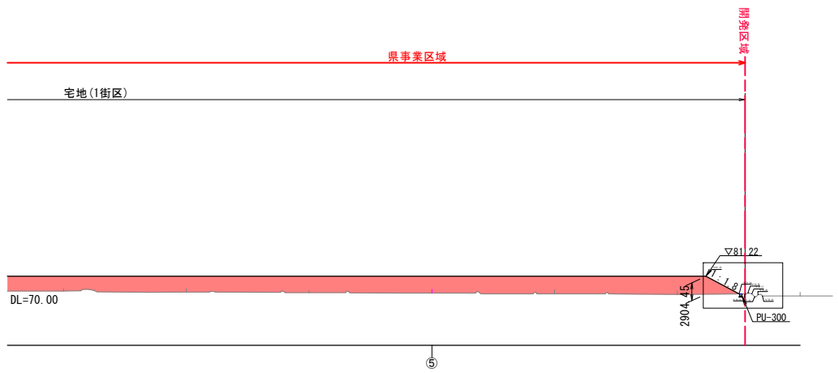


⑨ - ⑨



拡大図 S=1:100(A1) S=1:200(A3)





・盛土をする場合には、盛土に雨水その他の地表水又は地下水の浸透による緩み、沈下、崩壊又は滑りが生じないように、おおむね30センチメートル以下の層に分けて土を盛り、かつ、その層の土を盛るごとに、これをローラーその他これに類する建設機械を用いて締め固めるとともに、必要に応じて地滑り抑止ぐい等の設置その他の措置を講ずること。
・切土又は盛土をする場合において、地下水により崖崩れ又は土砂の流出が生ずるおそれがあるときは、開発区域内の地下水を有効かつ適切に排出することができるように、国土交通省令で定める排水施設を設置すること。
・法面高さが1mを超える箇所は、法面保護工(種子吹付・コンクリート吹付・ブロック)を実施すること。
・法面勾配は、30度以下で施工すること。
・開発区域外の造成は市事業（道路拡幅事業）である。

凡　例

種別	名称
▽81.00	計画道路高
	切　土
	盛　土
	開発区域
	県事業区域

施工年度 工事番号	令和7年度 第700－4号
工事名	御所1C工業団地　造成工事 (御所1C工業団地整備事業)
路線河川名 施工箇所	御所市北十三 外
図面種類 縮尺	造成計画断面図(5) S=1: 500(A1) S=1:1000(A3)

技師	照査	設計	製図

図面番号	138　葉中　8　号
事務所名	奈良県高田土木事務所